

河川事業の再評価概要書

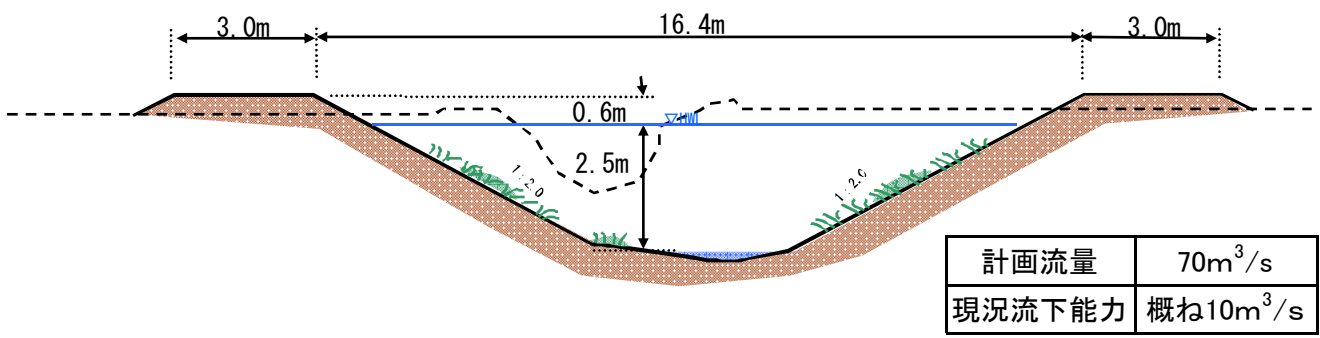
		番 号	109	
		事業主体	栃木県	
事業名	安全な川づくり事業		事業所管課	県土整備部 河川課
路線・河川名	一級河川 <small>まきかわ</small> 巻川		事業箇所名	<small>おおたわらし</small> 大田原市
事業区間	<small>おおたわらしなかだわら</small> 大田原市中田原地先 ～ <small>おおたわらしとみいけ</small> 大田原市富池地先		事業延長	2,657m
平成14年度事業化			平成17年度用地着手	平成22年度工事着手
事業期間	H14 ~ H35	事業 進捗 状況	基準年次：【平成23年度末時点】	
〔うち用地補償費〕 全体事業費	[1.7 億円] 11.5 億円		〔うち用地補償費〕 既投資事業費	[1.7 億円] 3.9 億円
事業概要				
<p>巻川は、那須塩原市木曾畑中に源を発し、大田原市街地を経て、篤川に合流する一級河川である。計画区間は、屈曲が著しく、河川断面が狭小で流下能力が不足していることから、豪雨時には洪水により宅地、道路や農地に浸水被害が生じている。そこで、河川断面の拡大を図り、氾濫を防止し浸水被害の解消を図る。</p>				
事業を巡る社会経済情勢等の変化				
計画区間では、県営経営体育成基盤整備事業（金田北部3期地区 A=61.3ha）が実施中である。				
事業の投資効果				
① 費用対効果分析結果				
		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】	
1) 事業全体	B/C=4.9	53.5億円	10.8億円	[L=2,657m 区間]
2) 残事業	B/C=8.3	51.5億円	6.2億円	[L=1,857m 区間]
② 事業の整備効果等				
整備を図ることにより、宅地、道路や農地の浸水被害が解消される。				
事業の進捗状況等				
① 事業の進捗状況				
事業延長 2,657mのうち、 <small>かみふかだし</small> 上深田橋から <small>とみいけ</small> 富池地先までの800mの整備が完了している。				
② 今後の事業進捗の見込み				
今後の事業については、計画的に整備が進められる見込みである。				
コスト削減等				
① コスト削減方策				
河川工事で発生した土砂は、県営経営体育成基盤整備事業金田北部3期地区へ流用し、工事費の削減を図っている。				
② 代替案立案等の可能性				
計画区間は大部分が圃場整備の区域に含まれているため、遊水地等の適地がないことから、現行計画が最適である。				
事業の対応方針（案）	現計画で事業を継続する。			

事業箇所(位置図、概要図)

位置図



標準断面図



概要図

